

研究室
からの
メッセージ

所在地 〒231-0862
神奈川県横浜市中区山手町 27

スタッフ 加藤尚美 (専攻科長・教授)、
澤井美奈子 (准教授)、山崎真帆 (講師)、
大高のぶえ (助教)

URL <https://sums.ac.jp/html/advanced-courses/>



左から大高、澤井、加藤、山崎

湘南医療大学専攻科

公衆衛生看護学専攻

History and Now

どのような機関なのでしょう？

湘南医療大学は、理念「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」のもと、2015 (平成 27) 年 4 月に保健医療学部 (看護学科、リハビリテーション学科)、2021 (令和 3) 年度に薬学部医療薬学科を開設し、保健医療に関わる職種を養成しています。

看護に求められる能力が高度になっていることを背景に、学部 4 年間の教育ではこれからの看護師に必要な内容を充実させ、保健師教育は 2022 (令和 4) 年度から上乗せの専攻科に移行しました。

専攻科のある横浜山手キャンパスは、山手教会の向かいに位置し、晴れた日には東京湾や富士山、みなとみらい地区を一望できます。1 期生は全員国家試験に合格し、9 割以上が保健師として就職。現在 2 期生が学んでいます。

Education

どのような教育をしていますか？

専攻科の学生の共通点は、看護師免許と学士 (または高度専門士) を有していることです。実際には、大卒ストレート、看護師経験後、社会人経験後など、多様性と可能性に満ちあふれたクラスです。

カリキュラムは「公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム」(全国保健師教育機関協議

会、2017) を参考に、多様な健康課題をテーマに取り入れて柔軟に対応できるよう構築し、住民とともに活動する実践家としての保健師の養成を目指しています。また、助産学専攻との合同演習や交流などを通して、互いの専門性や多職種連携を学べる時間も学生から好評です。

Research

どのような研究をしていますか？

教員はそれぞれ異なる実務・教育経験があり専門領域を持っています。専攻科で教育を行う立場として、あまり知られていない専攻科の保健師教育について研究し、発信していきたいと考えています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

神奈川県内では、行政機関と教育機関が連携・協働して保健師学生の実習の質向上のための検討や、新型コロナウイルス感染症対応業務などを行っており、本学もそれに参画しています。

大学所在地では、県、区、地域包括支援センター、医療機関、NPO などと連携して、高齢者の地域活動拠点との交流を続け、新型コロナウイルス感染症への対応や、実習と連動した健康イベント等の支援を行っています。皆さんが学生の成長を応援してくださっています。

ひとこと

多様な背景の学生たちがチームになっていく過程を大切にしています。演習では『保健師ジャーナル』の記事をフル活用し、日本中のさまざまな取り組みから学びを拡げています。行政に就職した学生からは「就職活動にも役立ちました!」という声も。

(澤井)

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室 (保健師教育に関わる講座・分野・領域) を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介ください。

応募方法 ● 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp